

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.222
2022.12.20

特集

- ① 第73回大学祭 煌(きらめき)
- ② ウェルカム!! 留学生



NANZAN
UNIVERSITY

特集1

第73回 大学祭 煌 きらめき

NANZAN FESTIVAL
2022

2022年10月29～31日の3日間、第73回大学祭を開催しました。今年のテーマは「煌(きらめき)」。来場されるお客様をはじめ、大学祭に関わるすべての方にとって輝かしいイベントになってほしいという願いが込められています。事前予約制、食事場所の制限、検温・消毒の実施など、感染症対策に気を付けながら開催されました。メインストリートには29店舗の模擬店が並び、教室棟ではバンド演奏や作品の展示・販売等を行いました。グリーンエリアに設置されたメインステージでは、バンド演奏やダンス披露等、各団体が練習の成果を発表しました。子ども向けゲーム企画や、R棟フラッテンホールではスペシャル寄席もあり、老若男女が楽しめる大学祭になりました。

中には企業とのコラボ商品を売るゼミも

総合政策学部 前田ゼミ

総合政策学部前田ゼミでは、グラノーラ専門バルクショップ&カフェ「GRANY」と共同して、「前田ゼミ×GRANY SDGsグラノーラクッキー」を出店しました。

「GRANY」は、一般社団法人・日本福祉協議機構が運営する福祉施設で、障がい者と健常者がともに働き、食品ロス削減などに取り組んでおり、環境社会心理学を学ぶ学生がこの活動に感銘を受けて共同開発を企画し、実現しました。

学祭では、共同開発の5種類のフレーバーのクッキーと、GRANYさんの既存のパッケージグラノーラ10種類を販売しました。連日大盛況で共同開発したクッキーは完売していました。



代表の総合政策学部4年山内玲奈さん(写真右:左から3番目)は、メンバー全員に仕事が回るよう役割を振り分けるのが大変だったと語っていました。



前田ゼミの皆さん

Nanzan AID

南山大学の活性化を目指し様々なイベントを企画しているNanzan AIDは「Nanzan AID Lab」と称し、1年生がメインとなってイルミネーションを使った幻想的な空間を演出した企画を体育館で行いました。

多彩な種類のライトや風船などを使用し、SNS映え間違いなしの空間になっていました。



SNS映えスペース

代表を務めていた人文学部2年津野陽己さん(写真下:左から3番目)は、クリエイターチームに所属しており、将来的にはクリエイターをメインにしたアートイベントを開催したいと意欲を語ってくれました。同じく代表の総合政策学部2年小室夏輝さん(写真下:右から2番目)は、Nanzan AIDの広報力を上げ、Instagramのフォロワーを増やしたいと今後の目標を語ってくれました。

NANZAN AIDのメンバー



ウェルカム!! 留学生

9月7～9日、南山大学にチャーターバスが到着し、30の国と地域から9月入学の留学生164名がキャンパスにやってきました。12日には外国人留学生別科生を対象としたオリエンテーション、13日には在学生在が引率するキャンパスツアーが開催され、母国の紹介や好きな日本食の話題で盛り上がるなど活発な国際交流が行われました。新たに留学生が入居を開始したヤンセン国際寮では、日本人の学生リーダーによるウェルカムイベントやアドバイザー教員による宿舎独自の教育プログラムを通じて、たくさんの留学生と日本人学生がすっかり打ち解けています。

新入生全員参加のもとフラッテンホールで執り行われた入学式では、少し緊張した面持ちの留学生もいましたが、学長からの入学告辞を受けて晴れやかな様子で今後の留学生活に期待を膨らませていました。9月16日からは授業が始まり、日本語科目や専門科目受講を通じて、それぞれの学びをスタートさせています。



チャーターバス到着の様子



キャンパスツアーの様子

日本人学生からの日本語での説明を熱心に聞いていました。



説明を受ける留学生



ヤンセン国際寮



生け花を習う留学生



交流を楽しむ学生



ウェルカムイベント



日本人学生と留学生で賑わっています。

2022.8.26

総合政策学部秋学期入学者卒業式

8月26日、フラッテンホールにて総合政策学部秋学期入学者卒業式を行いました。式典の様子はZoomでも配信され、後輩たちが見送る中11名の学生が卒業しました。恩師や友人たちと学生生活最後の時間を過ごす姿が印象的でした。



2022.9.15

2022年度9月卒業式

9月15日、フラッテンホールにて2022年度9月卒業式を行いました。指導司祭による祈りと聖書朗読の後、各学部、研究科代表者および博士後期課程修了者に学位記が授与され、55名が卒業しました。



2022.9.15

2022年度秋学期入学式

9月15日、フラッテンホールにて2022年度秋学期入学式を行い、学部生、大学院生、外国人留学生別科生合わせて166名が入学しました。今年度秋学期は148名の外国人留学生別科生が2年ぶりにフラッテンホールで参加し、華やかな式典となりました。



2022.8.29-8.30・11.20

小中学生向け講座「大学で、未来の自分を探してみよう！」

8月29日・30日と11月20日に、南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)・中学生を対象とした6講座をフラッテンホールで開講しました。

神崎教授(国際教養学科)が講師を務めた「食べ物からSDGsを考えてみよう(小学生対象)」では43名、「都市とSDGs(中学生対象)」では22名が参加し、学生スタッフや他の参加者と自分の考えを共有するなど、熱心に受講していました。

「自作のエレキギター機材を使った電気電子工学の醍醐味〜今年はドローンもやるよ!〜」の講座では、藤井教授(電子情報工学科)が小中学生合わせて71名に講義を行いました。エレキギターやドローンシミュレーターの体験コーナーもあり、大いに盛り上がりました。

「世界とつながるってどういうこと?—国際交流について考えてみよう—」の講座では、山田講師・藤掛講師(国際センター)が小中学生合わせて86名に講義を行いました。参加者は留学生や学生スタッフ(Nanzan International Ambassador)と交流ゲームをしたり楽しく学んでいました。



▲食べ物からSDGsを考えてみよう(小学生対象)



▲都市とSDGs(中学生対象)



▲自作のエレキギター機材を使った電気電子工学の醍醐味〜今年はドローンもやるよ!〜



▲世界とつながるってどういうこと?—国際交流について考えてみよう—



2022.9.24

保護者の集い

9月24日に、南山大学と南山大学後援会の共催で、第50回南山大学「保護者の集い」を開催しました。今年度は、3年ぶりに保護者の皆様をキャンパスにお招きすることができ、現地参加とオンライン参加のハイブリッドで実施しました。

全体会では、キサラ学長と佐野後援会理事長のご挨拶の後、本学の学生生活、進路支援、2021年度および2022年度の就職状況、国際教育について本学教員より説明しました。

後援会企画では、「コロナ禍で進化した国際教育」と題し山岸国際センター長をファシリテーターとして、コロナ禍で国際交流に取り組む学生を交えたパネルディスカッションをしました。

また、3年ぶりに相談コーナーや学内施設の見学も実施しました。



▲ライブ中継で学長の挨拶を聞く保護者の皆様



▲学部・学科懇談会会場



▲キャリア支援課で相談をする保護者の皆様

Special Events

2022.10.3-10.7

秋のフレッシュマン祭

10月3～7日、秋のフレッシュマン祭を開催しました。コロナ禍で感染対策を講じながら行う課外活動の意味や楽しさを伝えるため、体育会所属8団体、文化会所属4団体、その他10団体の計22団体がキャンパス内でチラシの配布やポスター掲示を行いました。



▲チラシを配る学生

2022.10.8

第56回野外宗教劇「受難」

10月8日に、パッヘスクエアで第56回野外宗教劇「受難」の公演を行いました。「受難」は南山大学



を代表する伝統行事で、イエス・キリストの受難を大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」の学生たちが演じる野外劇です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度は中止を余儀なくされ、また昨年度は配信での開催となりましたが、今年は感染症対策を講じつつ、3年ぶりに対面で開催されました。当日は迫真の演技が次々に繰り広げられ、今年も盛況のうちに幕を閉じました。

2022.10.19

南山大学附属小学校1年生校外学習

10月19日、南山大学附属小学校1年生の校外学習が南山大学で行われました。学校外での体験を共有することで、クラスやグループの仲間との心の繋がりを深めることを目的として実施されました。小学生たちは24チームに分かれ、チェックポイントを回り、普段入ることのない大学での体験学習を楽しんでいました。グリーンエリアやメインストリートを中心に、にぎやかな声が聞こえてきました。



▲メインストリートで南山大生と交流する小学生

2022.10.31-11.2

韓南大学校法政大学法学部(韓国)との学術交流会

2003年3月以来、毎年実施してきた南山大学法学部・法科大学院と韓国・大田市にある韓南大学校法政大学法学部による学術交流会が、コロナ禍の中止を挟んで3年ぶりに本学で10月31日から11月2日に開催されました。第18回となる今回は、韓南大から教職員4名と学生20名が来学し、知的財産権法に関する学術セミナーが開催され、また懇親会では本学学生らによりK-POPダンスが披露されるなど、学術と親睦の両面で大いに交流を深めました。



▲学術交流会参加の皆様

2022.11.5

受験生と保護者のための入試説明会

11月5日に、一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試の受験を検討している受験生を対象とした入試説明会「受験生と保護者のための入試説明会」を実施しました。

今年は各企画を対面とオンラインで同時開催とし、「学部説明会」や「入試制度およびweb出願についての説明」、「個別相談」などを行いました。

図書館 リニューアル工事 News

1階 完成予想図



パース提供：(株)大林組

「であう」「つながる」「かわる」特別な場所、地の塩、世の光としてプレゼンス(存在感)を発揮する「南山大学ライネルス中央図書館」へと生まれ変わるべく、リニューアル工事を行っています。

現在、外観の足場やシートは外され、全貌が見えるようになりました。

1階スペースはまだ工事作業中ですが、地下1・2階および2階は利用可能です。

皆様のご来館をお待ちしております。



生まれ変わったスペース



地下1階



2階



1階部分は順調に作業中

南山大学創立75周年記念募金のお願い

75周年を記念し、南山学園創設者であるヨゼフ・ライネルス師の名を冠した「ライネルス中央図書館構想」として実施している図書館リニューアル事業に対する支援として、引き続き皆様からの募金のご支援をお待ちいたしております。寄附者の皆様のご厚意に感謝の気持ちを込めて、寄附特典もご用意しております。どうぞ趣旨にご理解いただき、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは南山大学公式Webページでご確認ください。
<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/bokin/75th/>
 お問い合わせ先:
 南山大学広報・募金課 052-832-3113



国際教養学部 of 学生(大会参加時)と体育教育センターの飯田祥明准教授が ネットボールアジア選手権大会の日本代表メンバーに選出

9月3～11日、シンガポールで開催されたネットボールアジア選手権大会に選手として国際教養学部4年(大会参加時)の門野佑香さん、アシスタントコーチとして体育教育センターの飯田祥明准教授が日本代表(つばきJAPAN)に選出されました。

本学は国内大学では数少ないネットボールの授業を行っており、門野さんはバスケットボールと海外留学の経験が評価され、飯田准教授は授業での指導経験が評価されての選出となりました。



▲ネットボールアジア選手権大会の様子



▲日本代表チームの集合写真(後列1番右:飯田准教授、前列(選手)左から2番目:門野さん)

経済学部の川本真哉教授が、 著書『日本のマネジメント・バイアウト:機能と成果の実証分析』にて3つの賞を受賞

経済学部の川本真哉教授が、2021年度日本応用経済学会著作賞、令和4年度証券経済学会賞(図書部門)、第16回M&Aフォーラム賞正賞『RECOF賞』の3つの賞を受賞しました。

日本応用経済学会著作賞は、優れた研究業績によって、応用経済学ならびに学会の発展に貢献した正会員に対して、表彰するものです。

証券経済学会賞(図書部門)は、金融・証券市場・企業または証券分析に関わるテーマの著書(ただし翻訳書は除く)で、前年度に発表されたものに対して、表彰するものです。

M&Aフォーラム賞正賞『RECOF賞』



受賞著書
著者:川本真哉
『日本のマネジメント・バイアウト:機能と成果の実証分析』
有斐閣 2022年1月

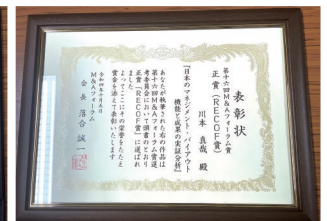
は、M&Aに関する法律・経済・経営・会計・税務・社会・文化等様々な観点からの優れた著作、研究論文を表彰するものです。



▲賞状と盾(2021年度 日本応用経済学会著作賞)



▲賞状と盾(時計)(令和4年度 証券経済学会賞(図書部門))



▲賞状(第16回M&Aフォーラム賞正賞(RECOF賞))

コパン(学生会館)2階「咖喱日和 南山大学店」がオープン!

10月3日、コパン(学生会館)2階に「^{カリビヨリ}咖喱日和 南山大学店」がオープンしました。オープンに先駆けて9月29・30日にはプレオープンも実施され、たくさんの学生が訪れていました。

名物の本格的なスパイスカレーを食べる学生 ▶



授業日の月曜日～金曜日11時～15時の営業で、どなたでもご利用いただけます。

理工学部の学生が韓国で行われたインラインスケート国際オープン大会で、 銅メダルを獲得

9月24・25日、韓国・春川市で開催されたインラインスケート国際オープン大会に日本代表選手として理工学部機械システム工学科1年小林慈佑さん、電子情報工学科1年小林慈伶さん兄弟が出場し、ベアクラシックで銅メダルを獲得しました。



▲左:弟・小林慈伶さん 右:兄・小林慈佑さん

小林慈佑さんは、バトルスラロームで4位とクラシックスラロームで6位そして、小林慈伶さんは、クラシックスラロームで4位に入賞しました。



▲小林慈佑さん



▲小林慈伶さん

総合政策学部・石川良文編著『コロナの影響と政策-社会・経済・環境の観点から-』が 日本地域学会の「著作賞」を受賞

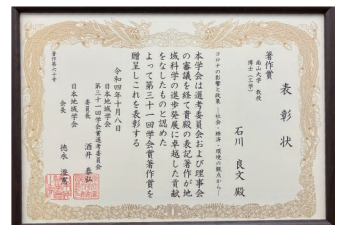
総合政策学部の石川良文教授の編著書が、日本地域学会の2022年度第31回「著作賞」を受賞しました。

この賞は、地域学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多である著作物を表彰するものです。受賞した著書は、新型コロナウイルス感染症の影響を社会、経済、環境の3側面から捉え、経済学、社会学、社会心理学、法学、政治学、環境科学など様々な学問分野の知見を基に分析しています。感染症の流行から2年間に及ぶ分析を早期にとりまとめ、パンデミックとなる感染症の影響と政策を地域の視点を入れつつ総合的に捉えた他に類のない著書として高く評価されました。

10月8日には授賞式がオンライン(開催校:麗澤大学)で開催されました。



受賞著書
編著者:石川良文
著者:総合政策学部教員
『コロナの影響と政策-社会・経済・環境の観点から-』
創成社



▲賞状

経営学部 川北ゼミ「暮らしに役立つ便利商品」チームが、「Sカレ2022」秋カンで、コンセプト・テーマ1位を受賞

Sカレ(Student Innovation College)は、31大学36ゼミ531名の3年生が、ゼミ対抗で8テーマに分かれ、それぞれの商品化を目指すインターカレッジです。今回の「秋カン」(中間発表)では商品のコンセプトを競いました。

コンセプト・テーマ1位を受賞した「暮らしに役立つ便利商品」チームは、大阪府にある旭電機化成株式会社のご協力のもと、世の中にある便利商品を改良し、さらに便利にしたアイデア商品を企画しています。今回の秋カンでは、服が濡れるのを防ぐ傘カバー・鞆に付けられるストラップ・机にかけられるフックの3つの機能が備わった商品「かさんぼ」を提案しました。



▲受賞した「かさんぼ」

川北ゼミ
「暮らしに役立つ
便利商品」
チームの皆さん▶



▲川北ゼミの皆さん

ラグロス部女子が第13回ラグロス全日本大学選手権大会に出場

第13回ラグロス全日本大学選手権大会に、東海リーグを勝ち抜いた本学ラグロス部女子が出場しました。初戦は、東北大学に見事勝利し、準決勝では惜しくも慶應義塾大学に敗れましたが、最後まで戦う姿勢がとても印象的な試合となりました。



▲全国大会初戦の様子



私の研究



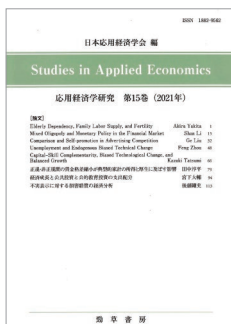
後藤 剛史(ごとう たけし)
経営学部 経営学科 准教授
専攻分野: 応用ミクロ経済学、法と経済学
研究テーマ: 損害賠償制度と企業行動
主な担当科目: 企業論A・B、法と経済学、経営数学

IT時代の企業行動と法制度

私の専門は、応用ミクロ経済学です。応用ミクロ経済学とは、世の中の様々な現象や制度などをミクロ経済学という眼鏡を通して眺める学問で、その分析対象は、産業組織、流通・マーケティング、法律と法制度、労務関係、政治・行政、環境問題、と挙げればキリがありません。法律と法制度に関する応用ミクロ経済学は「法と経済学」という名称を持ち、その分析対象は憲法や刑法などの公法から契約法や会社法などの私法にまで及びます。私はその中でも、契約法や事故法などの領域についての研究に大学院生のころから取り組んでおり、本学に奉職してからは、所属が経営学部ということもあって、企業行動に関連する法制度に興味・関心を持ってきました。

近年では、特に、IT時代での企業の行動と、それを取り巻く法制度

のあり方に着目して研究を進めています。昨今、IT技術の進展とともに、企業から消費者へのアプローチの分量が増加し、それにより、大量の情報にさらされた消費者の誤認に基づく取引契約も増加していることから、消費者契約に関連する法制度の整備が、国内外で喫緊の課題となっています。この課題に関する研究の端緒として執筆した後藤剛史(2021)「不実表示に対する損害賠償の経済分析」(『応用経済学研究』第15巻所収)に対して、先日、2021年度日本応用経済学会学術論文賞をいただくことができました。その内容の一端に関する簡単な説明を、本学大学院社会科学部研究科のウェブサイト(<http://depts.nanzan-u.ac.jp/grad/ss/column/management/016774.html>)で公開しておりますので、ぜひ、ご覧いただければ幸いです。



私のクラス



上峯 篤史(うえみね あつし)
人文学部 人類文化学科 准教授
専攻分野: 考古学、文化財科学、先史学
研究テーマ: 東アジア先史時代における人類交替の文化的研究
主な担当科目: 考古学実習A・B、考古学入門、考古学A

遺跡「で」学ぶ

考古学は、地中に眠る石器や土器等の様々な遺物、時には土そのものを調べて、過去の人類が備えていた文化や行動を明らかにします。本学では上峯研究室の課外活動や「考古学実習」の授業として、遺跡発掘調査に取り組んでいます。学年も経験も興味関心も様々な学生が集い、研究の最先端でもある発掘現場で学んでいます。

「考古学は地域に勇気を与える」といいます。考古学が地域の新たな価値を掘り起こし、その活性化に貢献するのです。2022年夏に岐阜県下呂市で実施した発掘調査は、石器の原料「下呂石」を取りに来た縄文時代人の姿を明らかにし、学界や地元の注目を集めました。特に地元の皆様とのつながりは温かく、まるで里帰りしてきた孫のように扱っていただきました。毎日、

誰かしらが調査の進捗や私たちの体調を気にくださり、地元の川の幸・山の幸も頂戴しました。発掘現場を訪ねる父娘もいれば、方々から「下呂市を調べてくれてありがとう」の声も聞かれました。

地域と一体となった学びの環境は、最高の教室です。自分の勉強が、誰かの関心を惹いたり、感謝されることさえある。自分の勉強は、自分だけで成り立っているのではなく、誰かの協力のもとに成り立っている。学生らは、本や教室の外に広がる世界を垣間見ます。足元には、少し遠慮しながらも誰かの力を借りて、自分が得たものを誰かに向けて発信していく、開かれた情報生産者としての道が見えていることでしょう。





2022.10.12

駐日チリ大使 リカルド G.ロハス氏が来学され、キサラ学長を表敬訪問されました。キサラ学長は今回の来訪を歓迎すると共に、本学がチリにある2つの大学と協定を締結していること等を紹介し、ロハス大使からは今年が日智修好通商航海条約締結から125年の記念の年であり、様々なイベントが行われる旨のご紹介がありました。



▲(左)リカルド G.ロハス氏(右)キサラ学長

Special Events Schedule

2023.3.21

2022年度 南山大学卒業式

開催日時：2023年3月21日(火) 第1部 午後1時より
第2部 午後3時15分より

内 訳：【第1部】 外国語学部、法学部、理工学部、国際教養学部、
国際地域文化研究科、法学研究科、理工学研究科、法務研究科
【第2部】 人文学部、経済学部、経営学部、総合政策学部、
人間文化研究科、社会科学研究科、ビジネス研究科

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、式典の内容を変更、または中止とする場合があります。

問合せ先：総務課 (Phone:052-832-3112)

Information

2023年度学生納付金改定について

2023年度南山大学学生納付金について、2022年3月25日開催の学園理事会において以下の通りとすることを決定しました。

◎学部学生(2020年度以前入学生)

理工学部を除く学部については、授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、4年次生は現行の9,000円に据え置く。

理工学部については、授業料を現行の818,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。

◎学部学生(2021年度以降入学生)

理工学部を除く学部については、授業料を現行の750,000円に据え置くとともに、教育充実費を現行の240,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、1年次生および2年次生は現行の18,000円に、3年次生は現行の9,000円に据え置く。

理工学部については、授業料を現行の750,000円に据え置くとともに、教育充実費を現行の340,000円に据え置く。

◎大学院学生

理工学研究科および法務研究科を除く研究科については、授業料を574,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。

法務研究科については、授業料を1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

理工学研究科については、授業料を654,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。

【2023年度学生納付金徴収(引落日)】

・春学期(第1・第2クォーター分)
2023年4月12日(水)

・秋学期(第3・第4クォーター分)
2023年9月27日(水)

各学期の公示、および学納金通知はがきにてご案内いたしますので、ご確認ください。

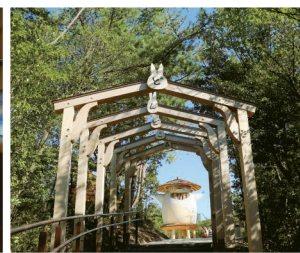
11月1日ジブリパーク開園

南山大学はジブリパークのオフィシャルパートナーです。

開園に先立ち内覧会が行われ、キサラ学長も参加しました。ジブリの大倉庫・どんどこ森・青春の丘の3つのエリアがオープンし、物語に入りこんだような気分が体感できます。皆様も是非足を運んでみて下さい。



▲ジブリの大倉庫
(ジブリのなりきり名場面展)



▲どんどこ森



▲青春の丘(地球屋)

寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

嶋崎 英子様 堀井 剛様 匿名ご希望者
3名様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

前田 尚彦様 宮野 佳子様 匿名ご希望者
上坂 瑛子様 嶋崎 英子様 5名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

岩瀬 次郎様	安藤 潔様	平松 正行様	宇佐美 昭子様	池田 節子様
尾川 佳枝様	山田 啓子様	浅田 弘様	河野 勝慶様	大海 好広様
藤田 三保様	濱嶋 健三様	浅井 昭宏様	吉川 稔様	山本 陸美様
石川 博仁様	坂井 康之様	青木 洋一様	伊藤 清様	
藤井 英二様	嶋崎 英子様	林 裕嗣様	沓名 成哲様	
日比 俊也様	竹内 邦夫様	鈴木 英之様	塩谷 圭様	
宮野 佳子様	市橋 航也様	塩田 洋千様	日比野 常二様	
中島 経年様	安井 真理子様	斎藤 立子様	子安 浩輔様	匿名ご希望者
阿部 恵美子様	樋口 慎二様	花井 勝支様	坂中 靖弘様	21名様

